

管理事務所からのお知らせ

この冬は暖かだった昨年に比べると、ほぼ例年並みの天気だったように思われましたが、2月に特に寒波の影響で寒い日が続きました。2月下旬の強風で那須街道の赤松が薙ぎ倒されるなどの被害があちこちにありました。彼岸過ぎ、降雨を観測したあと数日暖かな日が続いています。

◎ 入荘時の点検、水抜きについて

冬期間ご使用にならなかった別荘がほとんどです。入荘時には、別荘各部の破損や器具の故障等にご注意下さい。特に、給水管の水漏れ等の修理は、夜間は実施できませんので、なるべく昼間のうちに点検され、不良箇所があれば速やかに管理事務所にご連絡下さい。

水抜きにつきましては、極端に冷え込む日がありますので、4月20日頃までは実施してください。

◎ 粗大ゴミの取り扱いについて

以前から粗大ゴミの取り扱いにつきましては、ご協力をお願いしていますが、ゴミステーションへの放置がなくなりません。小型の家電製品や、マットレス等が特に目立ちます。ゴミ収集車は回収いたしませんので、ゴミステーションにはお出しにならないようお願いいたします。粗大ゴミの引き取りにつきましては、管理事務所にお問い合わせ下さい。

Q 住宅用火事警報機の設置に関する詳細、購入法等について教えてください。

A 設置場所と種類

- 平屋建てまたは2階建てで、寝室が1階のみにある場合は、全ての寝室に設置して下さい。また、2階建てで寝室が2階のみまたは1階と2階の両方にある場合は全ての寝室と2階の階段に煙感知式の警報機を設置して下さい。

警報機の販売店・価格等

- 家電量販店、ホームセンター、防災業者等。
- 電池式警報機 電池寿命約10年、ご自分で取り付け可能です。価格は1個当たり5,000円から6,000円位
- 平成21年5月31日までに設置することが義務づけられています。

白笹何でもQ&A



編集室より

オリオンの右肩に赤々と輝く星ベテルギウス。その少し下、真東から昇ってくるのがおおいぬ座の一等星シリウス。そしてこの二星とおよそ正三角形の位置にあるのがこいぬ座のプロキオン。この冬の大三角がゆっくりと西の空に退き、おとめ座のスピカ、うしかい座のアルクトゥルス、そしてしし座のデネボラ、春の大三角が夜空の主演に昇りつめ、春の訪れを知らせてくれています。冬の間白笹の山を覆っていた雪が春の陽射しを浴びてゆっくりと解けだし、沢を辿って那珂川を満たし、やがて麓の農家の田畑をいっぱい潤していくことだろうと思います。

板室から那須を横断する県道66号線沿いの、コナミの研修施設にお目見えした三機の風力発電機が那須山から吹き降ろす風を受けて、力強く、時にのんびりと翼を回しています。人間の智恵と力の創り出した新しい風景に暫し感じ入ってしまいました。

東北自動車道路の黒磯インターの開業を来年に控え周辺道路の整備が急ピッチで進み、新しい道路沿いにはコンビニが建ち並び、スーパーが建設されて、段々と便利さを増してきています。街のようすも少しずつ変わっていき、楽しみでもあり、また少し寂しくも感じています。

那須街道広谷地から少し下った道の駅『友愛の森』には3年前に野菜の直売所『ふれあいの郷直売所』がオープンしました。4月になると那須特産のいちご『とちおとめ』がいよいよ最盛期を迎え、甘みも増し、値段もグンと手頃になります。白笹におこしの際は是非一度立ち寄ってみてください。

編集室ではオーナーの皆様から、「白笹だより」に掲載させていただく写真や絵画、詩歌、エッセイなどを募集しております。作品のジャンルは問いませんので、どうぞお気軽にお寄せください。ご応募お待ちしております。

編集発行
黒磯観光開発株式会社
本社・現地管理事務所

〒325-0111
栃木県那須塩原市板室字白湯山1173-31
☎ 0287(69)0331(代)

白笹だより

No.108

2008.4



沼原の湿原に漂う黒山椒魚の卵

写真中央手前に浮かんでいるのは水草ではありません。撮影された田中義康さんに話をうかがうと、なんと黒山椒魚の卵とのこと。沼原は山椒魚の生息地としても有名ですが卵が見られるのはもちろん5月のこの時期だけです。「アケビの実のような形をした卵が20個位かたまって産卵されているところをバックの雄大な山並とともにフレームに収めました。」とのことでした。遠くに見える山々は那須町と福島県の境にある、左から三倉山(1,888m)大倉山(1,831m)流石山(1,822m)です。那須の麓、那須塩原市から臨んで那須連山白笹山の左の奥に見える山々です。冬の間、真っ白に雪を被っていた山々は、5月になってもまだ雪を残しています。麓の方はもう新緑に包まれている頃ですが、標高1,230メートルの沼原湿原の春はまだままだのようです。

田中さんの沼原湿原のビューポイントは、「春のザゼンソウ、夏のニッコウキスゲ、秋のエゾリンドウ」とのこと。貴重な写真をありがとうございます。沼原湿原はこのほか230種ほどの植物が自生しています。さあ、皆さんは何種類の花に出会うことができるでしょうか。春の来るのが待ち遠しくなりません。

なお、沼原湿原への道路は4月25日まで通行止めとなっています。

白笹掲示板

新管理事務所新築工事に伴うご協力のお願い

現在の管理事務所南側テニスコート脇の駐車場に、新しい管理事務所の建設工事を行っています。オーナーの皆様方には、騒音や、車両の出入り等で大変ご迷惑をお掛けいたしますが、工事期間中ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。なお、テニスコートのご利用は可能です。

工事期間 平成20年3月下旬～8月上旬

管理事務所営業体制のご案内

- ・営業時間 8:30～17:30 TEL. 0287-69-0331
(宿直日以外の夜間緊急時は転送電話にて対応)
- ・宿直体制(緊急時対応)土・日・祝祭日の前日、ゴールデンウィーク、年末年始、8月のお盆休みの期間(祝祭日につきましては宿直のない日もあります。)

エンジョイしています。別荘ライフ



飯田さんご夫妻と犬のメイちゃん

家族揃っての初登山も白笹山でした。子供たちが巣立っていった今、想い出されるのも、幼い頃から犬と自由に山をかけまわったこと、また夏休みの宿題のため、夜中に起きだしカプトムシを探しに行ったこと。しんと冷えた冬の空に天の川、そして気持ちのよい夏の空に流れ星を眺めたこと…。少し成長した子供たちと、芭蕉ゆがりの地をめぐること。遠くは平泉まで足を伸ばし、また日光、会津などへのドライブ、そしてスキー。印象深かったのは、かつて芭蕉が歩いたという道を車でひたすら東へ。“啄木も庵は破らず夏木立”の句とともに夏の暑さで印象深い雲巖寺が、深い雪の中にその厳かな姿を見せていたこと。そして、何よりも山の家で過ごす思い思いの時間…。

木工好きの主人は、黒磯の製材所で買い求めた木材で、子供たちに木馬やイスを作ってくれました。枯れた枝を集めて作ったイスは、古くなったベランダを少し趣のあるものにしてあります。そして、ときには、鳥の声、葉ずれの音に耳をかたむけることも。こんな気ままな生活ができるのも白笹ならではのこと。様々な思い出を包み込んだ山の家は、わが家の歴史そのものになりました。

今残念に思うことは、晩年の義父がたくさんの階段を昇れず、大好きだった那須にこられなくなったことです。私たちはこれからもこの階段を昇ることができると限り、冬の車を駆使して、一年を通じてこの白笹での“じかん”を大切に過ごしたいと思っています。

管理事務所の方々も、いつも気持ちよく対応してくださるのが何よりも心強く、安心して白笹に里帰りし、白笹を“ふるさと”と思えるしあわせを感じているこのごろです。

今回は世田谷区松原にお住まいの飯田さんご夫妻の登場です。年に5回ほど白笹の別荘に訪れているという飯田さんですが、ご主人の定年もそろそろ。「定年後は時間のゆるすかぎり白笹でのんびりしたい」と語ってくれました。心温まる文章をありがとうございました。

白笹の木々の芽はまだかたく、五月にようやく見られる芽吹きが待たれるこの頃です。結婚前の主人が、ここ白笹の地の景色のすばらしさを気に入り購入したのがもう35年前のことになります。そして義父が家を建てたのが、ちょうど長女がおなかのいたころでした。

その後三人の子供達の成長とともに、この山の家も白笹山から吹き降りしてくる強い風にいつまで耐えられるのかという風情(?)となりました。

那須で見られる山野草⑧ エイザンスミレ

晩年の漱石の日記にも登場するこのエイザンスミレは、別名エゾスミレとも呼ばれています。比叡山で発見されたことからこの名が付けられました。青森から九州の山地に広く分布する比較的日陰を好んで咲く花です。特徴は茎を伸ばさない無茎性で、ヨモギの葉のように裂れ直立した葉っぱと、微かな佳香。3月から5月にかけて薄紅色の花を付けます。葉っぱは根生し、花時の草丈は3～10cm、夏には10～20cmにもなります。那須の高原では5月頃に花を咲かせるとか、比較的見付けやすい花なので、白笹にお越しの際は散策してみてください。

日本にはこのほか56種ほどのスミレの仲間が自生しています。



▲エイザンスミレ

おいしい場所
お教えします

森のカレー屋さん ぱくぱく

TEL. 0287-68-1589

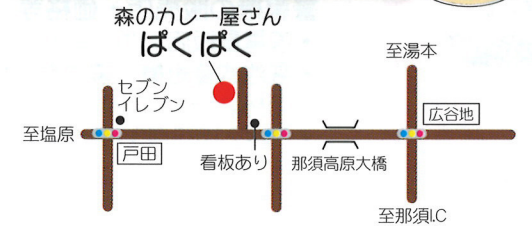
営業時間 11:00～17:00 (ラストオーダー)
定休日 毎週火曜日(祝日は営業)、
第三水曜日(7・8月と祝日は営業)

今回紹介するのは那須には数少ないカレー専門店『森のカレー屋さん ぱくぱく』です。

那須街道・広谷地の交差点から、好景観道路として現在歩道の拡幅工事をしている県道30号を塩原方面に向かい、那須高原大橋を渡っておよそ1キロの所にあります。看板(左下写真)を目印に、通りから少し入った所、那須山を背にして静かな櫛の木立の中にたたずむお店です。

30年間チーズ作り携わってきたという、やさしいけれど味にはうるさい職人気質のオーナーは、10年ほど前に都会の喧騒を離れたいたいと思ひ、何ヶ所か探した中で那須の大自然に魅了され、自家製チーズ作りには欠かせない新鮮な牛乳や野菜が手に入りやすいこともあり、この地を選ばれたそうです。「そんな思いから、お店も敢えて大通りを避けた林の中に建てました」とのことでした。

お店に向かって左側には、那須塩原市に越してきた際、市から贈られたというブルーベリーの木がもうすっかり大きくなっています。7月頃には大きな実を付けていることでしょう。お店に入ると、この季節(3月に取材)暖炉の赤々とした火が店内を心地よく暖めてくれています。4人掛けのテーブルの隅にはいつも小さな一輪挿しが飾られ、窓の外でも櫛の林が季節の彩りを添えてくれています。『おいしいカレー屋さん!』としてリピーターも多いぱ



くぱくのカレーは2日ばかりでルウから手作りするオリジナルのカレーです。自家製チーズと30数種類のスパイスが効き、コクもあり、香りも豊かです。おすすめ一番は、なすカレーにチーズ(4種類)をトッピングした『なすチーズカレー』です。ルウの中にチーズを練り込んだ形が入っていて、なすとの相性も抜群です。また材料にもこだわり「できるかぎり国産のものを」と語るオーナーが、長年培ったチーズ作りの腕を存分に発揮した逸品です。

そして、食後には特製のケーキを!

チーズにこだわるオーナーが、チーズ本来の味を生かしたケーキと、ベーキングパウダーを使わず卵のやさしさを生かしたシフォンケーキはいかがでしょうか。

おすすめのメニュー

- なすカレー……………1,200円
- きのこカレー……………1,200円
- チーズカレー……………1,400円
- チキンカレー……………1,450円
- 高原野菜とひき肉のカレー…1,450円
- ビーフカレー……………2,500円
- チーズのトッピング……………350円